

株式会社ドトール・日レスホールディングス

URL <http://www.dnh.co.jp>

本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号

TEL 03-5459-9178（代表）

DOUTOR

株式会社ドトールコーヒー

www.doutor.co.jp

NRS

日本レストランシステム株式会社

www.n-rs.co.jp



環境保全のため、FSC認証紙と大豆油インキを使用して印刷しています。



C O N T E N T S

株主の皆様へ	1
連結中間決算ハイライト	3
事業会社の営業状況	4
経営戦略Q&A	5
トピックス	8
紹介! ホットメニュー	9
レポート! 新業態デビュー	11
ドトール・日レスTOWN訪問記	12
中間連結財務諸表	13
会社概要	15
株式情報	17

DNREPORT Vol.2

株式会社ドトール・日レスホールディングス
2009年2月期 中間報告書

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は当社事業へのご理解と格別のご支援を賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。

当中間期における経済環境は、原油をはじめとした資源の高騰やサブプライムローン問題から端を発した世界的な金融システム不安などますます厳しいものとなっております。

外食業界におきましても、景況感の悪化による消費者の購買行動の変化から既存店売上が低迷し、原材料価格の高騰が続くなど、更に厳しい経営環境が続いております。

こうした状況下、当社では中期経営計画のもと、効率化を徹底し、既存事業を再強化するとともに、新業態の開発や経営資源の集約化など統合効果の実現に向けた着実な布石を打つことで、ほぼ計画通りの業績で進捗しております。

当社は、融合から生まれる改善と進化を果たすことで今後の更なる成長を加速していく所存です。株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役会長 山内 実



代表取締役社長 星野 正則



ドトールコーヒーショップ



セルフサービスコーヒーショップのバイオニア。幅広い客層をカバーする業界のトップチェーン。



気軽にイタリアンテイストを楽しめるスパゲッティハウス。オリジナル開発した生麺が自慢。



エクセルシオール カフェ



本格的なエスプレッソの味が楽しめる、ハイグレードなイタリアンバーがコンセプト。



地域密着型のコーヒー専門店。充実したフードメニューや、コーヒー豆・器具の販売も。



カフェ マウカメドウズ



ハワイ島の直営農園で収穫される最高級のコナコーヒーと、焼きたてワッフルを提供。



LE CAFÉ DOUTOR GINZA



超一等地に照準を合わせたドトールの最高級セルフ業態。エスプレッソブームの先駆け。



おもてなしのプロでもある“バリスタ”が常駐し、日常的にご利用いただける“Mio Bar(ミオバー=私のバー)”



普通が素敵女性のためのスイーツカフェ。焼きたてワッフルやオーガニックコーヒーなどを提供。

「飲」と「食」の融合による新しい外食文化を発信します。



創作和風と本格派の洋風スパゲッティの代表ブランド。ゆであげスパゲッティ専門店。



無農薬・減農薬の農作物、無添加・無着色の食材にこだわった、体に優しい自然食レストラン。



京野菜をテーマに、調味料や具材についても京風のものを中心に仕上げた京風パスタ専門店。



福島産の伊達地鶏を使用し、炭火で焼き上げる自慢の焼き鳥を中心とした地鶏料理の専門店。



黒豚のしゃぶしゃぶをはじめとし、黒豚料理と相性の良い焼酎を存分に味わえる専門店。



インドから直輸入した最高級の紅茶と、オリジナルティー溢れる手づくりケーキが自慢のカフェ。



ヨーロッパの田舎にあるプチレストランのような雰囲気のあるふわふわオムライスの専門店。



有機野菜・惣菜をはじめとして、産地直送の安全・安心な食材を多数取り揃えた自然食品の店。

FINANCIAL HIGHLIGHT

連結中間決算ハイライト

当中間期のポイント

- 統合効果実現に向けた新業態開発や経営資源の集約化を推進
- コンビニ向けチルド商品など一般卸売上が好調に推移
- コストコントロールにおける効率化が進捗
- 一株当たり13円の間配当を実施

連結売上高

53,733百万円
通期計画 107,817百万円

連結営業利益

5,288百万円
通期計画 11,096百万円

連結経常利益

5,505百万円
通期計画 11,654百万円

連結中間純利益

3,620百万円
通期計画 6,539百万円

BUSINESS REVIEW

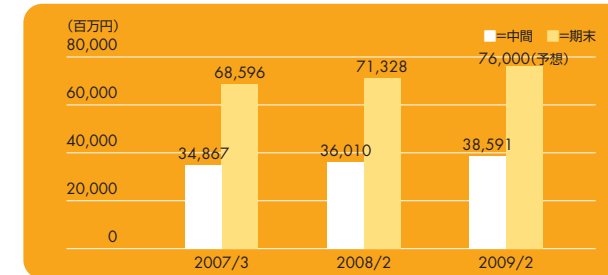
事業会社の営業状況

ドトールコーヒー

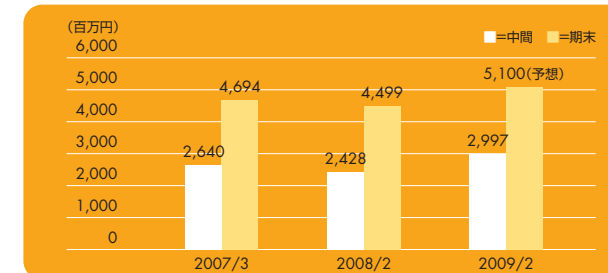
当中間期は、「原点回帰～基本は常に進化する～」をテーマに、改めてお客様のために何ができるかを見直し、基本理念である「お客様にやすらぎと活力を与える」ため、人の魅力、商品の魅力、店の魅力の3つの魅力の強化を行ってまいりました。

商品政策面では、ドトール創業以来の定番メニュー「ジャーマンドック」のリニューアルをはじめ、エクセルシオール カフェにおける「モーニングセット」の刷新など、おいしさの追求に努めてまいりました。また、お客様のニーズに合わせた健康をテーマに、ゴマやヘーゼルナッツのキャンペーンを行った効果により、既存店売上は前年を上回ることができました。

売上高



経常利益

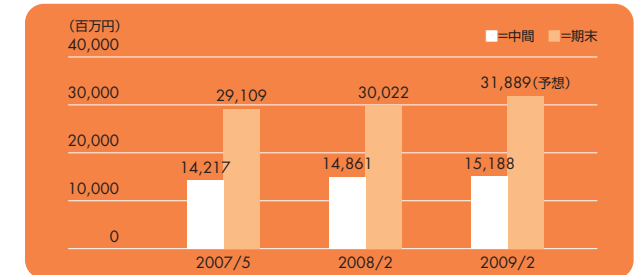


日本レストランシステム

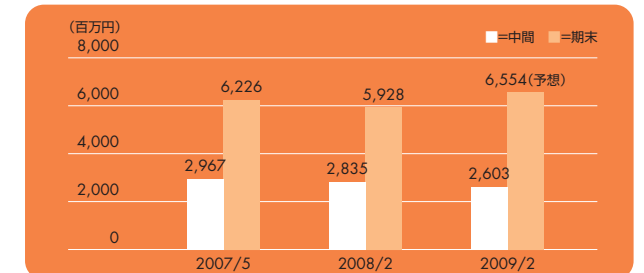
当中間期は、商品価値の向上を目指して、「先斗入ル」等の新メニューの開発を行うほか、紅茶専門店「ザ・ダーズリン」、クイックパスタの「PASTA-YA」の新業態を開発し、お客様の期待にお応えできるサービスの強化を推進してまいりました。

しかしながら、駅前や繁華街などの立地においてはほぼ計画通りの推移を示したものの、ガソリン価格の高騰など消費行動の変化により、ロードサイド店舗の来客数が伸び悩んだことなどから、既存店売上は前年を下回る結果となりました。店舗展開につきましては、立地を厳選して17店舗を新規に出店する一方、お客様の嗜好に合わせて7店舗を業態変更しました。

売上高



経常利益



(注) 1. 2008年2月期中間はドトールコーヒーが2007年4月から2007年9月、日本レストランシステムが2007年6月から2007年11月までとなっております。
2. 2008年2月期は2007年3月から2008年2月の1年間となっております。

厳しい経営環境を乗り越え、成長性を 効率化を徹底し経営資源を集約化。更

確保するために、 に新業態開発を推進。

Q 経営統合から1年が経過した現在、 どのような効果が生まれていますか？

当期につきましては、ホールディングスの基盤となる各事業会社の強化を図るとともに、経営統合以来継続している定例会を中心にした事業内容や取引内容の精査、両社の文化やノウハウの共有、意思確認を進めた結果を徐々に具現化していく段階に入っていると認識しております。

新業態の開発では【PASTA-YA】をオープンし、当期3店舗程度の直営店を展開することで、オペレーションやメニューのブラッシュアップを行い、来期以降のフランチャイズ化を目指しております。これは、日レスの業態開発力とドトールの店舗展開力（FCノウハウ）を共有した初めての業態となっております。また、グループ内で重複していた部門であった洋菓子類製造卸事業を統合し、新たに【D&Nコンフェクショナリー】を設立したことで、更なる進化を果たしてまいります。こうした統合効果の具現化をこれからもひとつひとつ着実に実現していく所存です。

代表取締役会長
山内 実

Q 原材料の高騰や消費行動の 抑制傾向など外食産業の状況 についてお聞かせください

昨年来の原油高騰をはじめとした資源高、更にサプライムローンに端を発した世界的な金融システム不安による経済状況の悪化により、外食産業を取り巻く環境は大変厳しい淘汰の時代に入ったと認識しております。また、当社においても、ガソリン高を背景とした消費行動の変化により、ロードサイド店の来店客数が伸び悩むなどの影響を受けているといえます。

当社では、こうした厳しい経営環境の中においても、経営効率を高めるとともに、お客様のお役に立つことを全ての基準にした継続的なメニュー開発や社員教育の強化をもとにした接客・サービスの向上に取り組むことで、外部環境の悪化を乗り越えて成長性を確保していく所存です。多様化したお客様の期待感にお応えし続けること、そして安全・安心をお届けする企業として、これからも邁進してまいります。

Q 当期のテーマと 中間期における取組状況について ご説明願います

当社では、2011年2月期を最終期とする中期経営計画を策定しました。「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニーになる」ことを経営計画の基本方針とし、3年後の2011年2月期には、売上高1,221億円、営業利益134億円、経常利益139億円、当期純利益78億円の達成を目標としております。

この中期経営計画では、「既存事業の再強化」「効率化の徹底」「新規出店」「内部統制強化によるガバナンス体制の確立とコンプライアンス強化」を重点施策として取り組んでおり、当期についてもこの基本方針に則った経営を推進しております。

この中間期までの取組状況としましては、厳しい経営環境の中、コストコントロールを徹底することで、経費の削減効果が計画以上に進捗するなど、最終計画に向け着実な一歩を踏み出せたと認識しております。

通期の見通しはいかがですか

皆様方のご支援のお陰で、この中間期までの業績は、ほぼ計画通りに進捗いたしておりますが、世界的な金融システム不安や消費行動の変化により、今後ますます外部の経営環境が悪化することが見込まれており、見通しとしては決して楽観できるものではないと認識しております。

しかしながら、当社といたしましては、外部環境の悪化を理由にすることなく、計画達成に向け、更なる効率化の徹底とお客様の期待にお応えする施策を打ち、統合効果を発揮することで、計画以上の業績を出せるよう、全力を尽くしていく所存です。

代表取締役社長
星野 正則



株主の皆様へのメッセージをお願いします

ドトールコーヒーと日本レストランシステムが経営統合して1年が経過いたしました。この間、株主の皆様のご期待にお応えすべく、確実にひとつひとつの施策を打ってまいりましたが、まだ本当にご満足いただける水準に達しているという認識はいたしておりません。今後

も外食ビジネスを広範囲にカバーするノウハウとマーケティングをもとに、激しく変化する経営環境を迅速に察知することで、これまで以上に素早く的確に対応し改善、進化を図り、中期経営計画の達成に向け邁進したいと考えております。

株主の皆様方におかれましては、当社の安定性、成長性、そして将来性にご期待いただき、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

インターネット食材ショップ【安心堂百貨店】オープン 安心堂百貨店へぜひお越しください！

安 心堂百貨店は当社グループの関連会社であるT&Nネットサービス株式会社が運営し、味・品質・安全を安心してお求めいただけるインターネット通信販売サイトです。安心堂百貨店では、洋麺屋五右衛門のパスタセットやモーツアルトのケーキなど、すでにレストランで高い支持を得ている商品、インドから直輸入した紅茶、自然食品の店「F&F」の有機野菜など、他では買うことのできない付加価値の高い商品をご自宅へお届けします。また、匠の新米フェアなど各種フェアも開催しておりますので、ぜひ一度、安心堂百貨店のサイトをご覧ください。



安心堂百貨店のサイト
<http://www.anshindo-d.jp/>

洋菓子類製造卸事業を統合 【D&Nコンフェクショナリー】

洋 菓子製造卸の100%子会社「D & Nコンフェクショナリー株式会社」の設立を決議し、傘下の孫会社「株式会社マドレーヌ・コンフェクショナリー」及び「日本レストランコンフェクショナリー株式会社」から新子会社に事業譲渡を行うことにより、当該事業を統合いたしました。

両孫会社は、洋菓子の製造及び卸販売をそれぞれ行っておりますが、今般、グループ内で重複する部門を統合することで、情報の共有化などにより多様化するお客様のニーズに対応した商品を開発して販売し、洋菓子業界での優位性を築き上げます。あわせて事務管理や製造管理を見直し、合理化を図ることによりコスト削減が可能となります。また、グループ内だけの販売にとどまらず、外部取引を徐々に引き上げていくことで、日本における洋菓子製造卸企業のエクセレント・リーディングカンパニーを目指してまいります。



introduction HOT MENU



ドトールコーヒESHOP



ジャーマンドック リニューアル ～新メニューも登場～

1980年の創業以来、ドトールの代表メニューであるジャーマンドックをリニューアル。創業当時の味を大切にしながら原料から見直し、よりパキッとした食感とジューシーで食べごたえのあるこだわりの味を実現。同時に新メニューとして、ドイツの家庭料理をイメージした『ザワークラウトドック』と緑黄色野菜たっぷりの『ピリ辛カボナータドック』も発売。

新モーニングセットを導入 ～本物志向、ボリューム満点～

8月からモーニングセットを刷新。新メニューの『クロックムッシュ』では本格的なヨーロッパの味を取り入れたのはじめ、人気の『チャバッタ』と『クロワッサンサンド』を提供。また、ドリンクセットの選択に新しく『カプチーノ』と『ロイヤルミルクティー』を加えました。ボリュームがあり、手軽に食べられ、お買い求め頂き易い価格となったEXCのモーニング、是非お試しください。



エクセルシオール カフェ



先斗入ルの新メニューです



「黒豚と聖護院蕪おろしの 白味噌スープ」



品の良い西京味噌に、聖護院蕪の甘みが溶け込んだスープスパゲッティー。これにコクのあるもう一種類の味噌「京桜」をお好みで付けていただくことにより、また違った味わいを楽しめる、2度美味しい一皿です。

「赤伏見唐辛子の カルボナーラ チリトマト」

トマトの甘みと酸味、伏見唐辛子の爽やかな辛さをイタリア産チーズ「グラナパターノ」と自家製ベーコンの濃厚な旨みで上手くまとめあげています。



「たらこと湯葉としめじの青じそ風味」



先斗入ル立ち上げの当初からの人気商品をグレードアップ。昆布の効いたダシに青じその爽やかな香りとならこの適度な塩気が移り、さっぱりと召し上がっていただけます。

REPORT!

新業態

Debut

デビュー

エリザベス女王が絶賛した「オカイティ茶園」や ダージリンの最高峰「キャッスルトン茶園」など 五大農園の茶葉を使用した紅茶専門店がオープン

THE
DARJEELING
FINEST INDIA TEA

世界最高の紅茶産地と呼ばれるインドのダージリン地方から直輸入した紅茶を提供するダージリン専門店です。紅茶は「キャッスルトン」「オカイティ」「セリンボン」「グームティ」「マーガレットホープ」の五大茶園から直接買いつけた上質の茶葉を使用しています。紅茶を用いた手作りのケーキも充実し、モダンで居心地の良いリビングをイメージした落ちつけるカフェです。



ザ・ダージリン 銀座コア店

TEL 03-3289-2264
営業時間 11:00～22:00
54席 予約不可 テイクアウト可

本物の食材を使用したパスタをお手ごろな価格でクイック提供 一人でも気軽に入りやすい店舗です 将来のフランチャイズ展開を視野



パスタの価格は490円から790円とお手ごろですが本格的な味わいです。メニューは、「アーリオ・オーリオ ペペロンチーノ」や「豚肉とベーコンの醤油バター風味」など和風から洋風まで定番メニューで20種類あります。カウンター席中心で一人でも気軽に入れ、忙しい仕事の合間などにさっと食べたいお客様のニーズをとらえています。



PASTA-YA朝霞台店

TEL 048-471-7215
営業時間 11:00～23:00
26席 予約不可 テイクアウト可

集中出店エリアを
チェック!

ドトール・日レスTOWN訪問記

東京・池袋「サンシャインシティ」

サンシャインシティは、大規模複合開発民活第一号として誕生し、さまざまな施設が一体となって都市生活に必要な多くの機能を備えた都市空間です。

このサンシャインシティの商業施設であるレストラン街に、当社の以下の6つの業態が皆様のご来店をお待ちいたしております。

池袋にお越しの際は、ぜひご利用ください。

ドトールコーヒーショップ	03-3988-3949	アルパ B1F
洋麺屋五右衛門	03-5953-2345	サンシャイン三越 B1
卵と私	03-3986-6474	アルパ 3F
黒豚庵	03-5911-2751	アルパ 3F
さんるむ	03-5911-2831	アルパ 3F
舌郎	03-5396-3644	アルパ B1



東京メトロ有楽町線 東池袋駅より徒歩3分
JR、東京メトロ、西武池袋線、東武東上線 池袋駅より徒歩8分
都電荒川線 東池袋四丁目停留所より徒歩4分



ドトールコーヒーショップ



ドトールコーヒーショップでは、手間ひまかけたこだわりの直火焙煎で焼き上げた工場直送の新鮮な豆で、毎日いれたての美味しいコーヒーをお客様へ提供しております。



安全・安心・健康がテーマの自然食レストラン。メニューは美肌効果、血液さらさら効果など効能をテーマにした和食が中心。身体に優しい食材を厳選使用しております。



食感や旨味が一番感じられる厚さにスライスされた肉がウリのしゃぶしゃぶや、黒豚の旨味が凝縮しているウデ肉をスライスして重ねて揚げたとんかつをお試しください。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要旨)		(単位:百万円)
科 目	当中間期 2008年8月31日現在	
資産の部		
流動資産	30,718	
固定資産	65,704	
有形固定資産	30,675	
無形固定資産	1,458	
投資その他の資産	33,569	
資産合計	96,422	
負債の部		
流動負債	15,125	
固定負債	3,323	
負債合計	18,448	
純資産の部		
株主資本	78,384	
資本金	1,000	
資本剰余金	25,858	
利益剰余金	51,892	
自己株式	△366	
評価・換算差額等	△415	
その他有価証券評価差額金	△454	
繰延ヘッジ損益	38	
少数株主持分	5	
純資産合計	77,973	
負債及び純資産合計	96,422	

中間連結損益計算書(要旨)		(単位:百万円)
科 目	当中間期 2008年 3月 1日から 2008年 8月31日まで	
売上高	53,733	
売上原価	22,643	
売上総利益	31,089	
販売費及び一般管理費	25,800	
営業利益	5,288	
営業外収益	295	
営業外費用	79	
経常利益	5,505	
特別利益	1,512	
特別損失	578	
税金等調整前中間純利益	6,439	
法人税、住民税及び事業税	2,927	
法人税等調整額	△109	
少数株主利益	1	
中間純利益	3,620	

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)		(単位:百万円)
科 目	当中間期 2008年 3月 1日から 2008年 8月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,905	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	
現金及び現金同等物の増加額	2,187	
現金及び現金同等物の期首残高	16,754	
現金及び現金同等物の中間期末残高	18,941	

POINT

貸借対照表
自己資本比率は80%超。世界的な金融システム不安にも全く動じない、磐石な財務基盤となっております。

損益計算書
売上高500億円超、営業利益50億円超(中間期時点)。低迷する外食企業の中でも確実に利益を出せる企業として磐石な体制が整っております。

キャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローで、更なる成長のための投資活動(設備投資)のキャッシュを賄える磐石な流動性を持っております。

中間連結株主資本等変動計算書(要旨)						(2008年3月1日から2008年8月31日まで)					(単位:百万円)	
科 目	株主資本					評価・換算差額等				少数株主 持分	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計				
2008年2月29日残高	1,000	25,858	49,537	△365	76,030	△540	—	△540	3	75,493		
中間連結会計期間中の変動額												
剰余金の配当	—	—	△1,265	—	△1,265	—	—	—	—	△1,265		
中間純利益	—	—	3,620	—	3,620	—	—	—	—	3,620		
自己株式の取得	—	—	—	△1	△1	—	—	—	—	△1		
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	85	38	124	1	126		
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	2,355	△1	2,353	85	38	124	1	2,480		
2008年8月31日残高	1,000	25,858	51,892	△366	78,384	△454	38	△415	5	77,973		

CORPORATE PROFILE

会社概要

株式会社ドトール・日レスホールディングス

商 号	株式会社ドトール・日レスホールディングス	取締役		監査役	
設 立	2007年10月1日	代表取締役会長	山内 実	監 査 役	高橋 圭介
資 本 金	10億円	代表取締役社長	星野 正則	監 査 役	宮林 哲夫
従 業 員 数	2,007名(連結)	取 締 役	大林 豁史	(社外)監査役	梶川 浩
本 社	東京都渋谷区猿楽町10番11号 03-5459-9178(代表)	取 締 役	鳥羽 豊	(社外)監査役	吉島 重鐵
事 務 所	東京都渋谷区神南一丁目10番1号 03-5459-9178(代表)	取 締 役	稲森 六郎		
U R L	http://www.dnh.co.jp	取 締 役	木高 毅史		
		(社外)取締役	財前 宏		
		(社外)取締役	稲垣 道子		

株式会社ドトールコーヒー

商 号	株式会社ドトールコーヒー
設 立	1962年4月
資 本 金	111億41百万円
従 業 員 数	1,109名
本 社	東京都渋谷区神南一丁目10番1号 03-5459-9008
U R L	http://www.doutor.co.jp

日本レストランシステム株式会社

商 号	日本レストランシステム株式会社
設 立	1973年6月
資 本 金	35億5百万円
従 業 員 数	898名
本 社	東京都渋谷区猿楽町10番11号 03-5456-0123
U R L	http://www.n-rs.co.jp

業態別店舗数

ドトールコーヒー

業 態 名		2008年9月
ドトールコーヒーショップ	全店 うちFC	1,138 989
エクセルシオール カフェ	全店 うちFC	181 35
カフェ コロラド	全店 うちFC	111 110
カフェ マウカメドウズ	全店 うちFC	13 0
オリーブの木	全店 うちFC	9 4
その他	全店 うちFC	10 3
小計	全店 うちFC	1,462 1,141

日本レストランシステム

業 態 名	2008年9月
洋麺屋 五右衛門	143
さんるーむ	30
卵と私	19
にんにく屋 五右衛門	14
モーツアルト	14
その他	129
小計	349

※日本レストランシステムの業態は全て直営です。

地域別店舗数

ドトール 日レス

信越・北陸 27店舗

関西 143店舗 54店舗

中国 23店舗 4店舗

四国 9店舗

九州・沖縄 53店舗 18店舗

ドトール 日レス

北海道 17店舗 12店舗

東北 83店舗 2店舗

関東 1,017店舗 226店舗

中部 90店舗 33店舗

STOCK INFORMATION

株式情報(2008年8月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	50,609,761株
株主数	20,265名

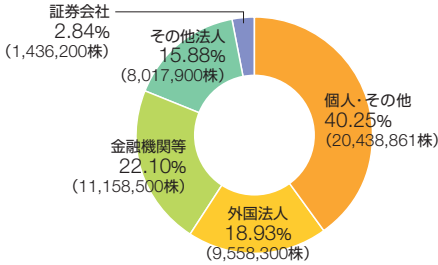
大株主

	持株数(千株)	出資比率(%)
大林 裕史	6,748	13.33
鳥羽 博道	5,510	10.89
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,061	6.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,388	4.72
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.61
野村證券株式会社	1,211	2.39
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	945	1.87
山内 実	924	1.83
マサ ジャパニーズ エクイティ	808	1.60

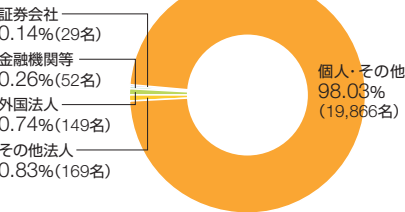
*出資比率は自己株式(8,869株)を控除して計算しております。

株式・株主分布

所有者別株式分布



株主構成



株主優待のご案内

当社の株主優待制度は下記のとおりです。

1 対象株主

毎年2月末日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された1単元（100株）以上保有の株主様を対象とさせていただきます。

2 優待制度の内容

保有株数	内 容
100株以上500株未満	2,500円相当の商品
500株以上	4,500円相当の商品

3 贈呈時期

毎年6月の贈呈を予定しております。

株式に関するお知らせ

当社株式に関するお手続き〔単元未満株式の買取・買増について、配当金のお受取について〕に関しては、下記ご案内をご参照いただきますようお願いいたします。

———単元未満株式の買取・買増について———

単元未満株式（100株に満たない株式）の買取・買増を請求することができます。
当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」と、不足分を買い増していただき単元株式（100株）にまとめる単元未満株式の「買増制度」をご利用いただけます。

———配当金のお受取について———

昨年10月1日の日本郵政公社の民営化により従来の「郵便振替支払通知書」が「配当金領収証」に変更となりました。なお配当金については、最寄の「ゆうちょ銀行」または「郵便局」の貯金窓口にてお受取いただけます。
配当金は、支払い開始日から満3年を経過しますと当社は支払い義務を免れ、支払いに応じかねますので、確実に配当金をお受取いただける銀行等預金口座への振込、またはゆうちょ銀行の貯金口座への振込をおすすめいたします。
上記の手続き方法および上記以外の株式に係る手続きについては、下記の株主名簿管理人にお問合せください。なお証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社へお問合せください。

お問合せ先（株主名簿管理人）
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
取次所 みずほ信託銀行株式会社
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

株券の電子化に関するお知らせ

株券の電子化は、2009年1月を実施目標として準備が進められています。

株券が電子化されると、株主の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。お手元にお持ちの株券がご本人名義でない場合は、お早めに名義書換のお手続きをお済ませください。

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月に開催します。
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日 中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合は、あらかじめ公告して基準日を定めます。
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 〒135-8722
郵便物送付先	東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告掲載方法	電子公告により行います。(ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。)
電子公告アドレス	http://www.dnh.co.jp/ir/koukoku/index.html